

編集後記

私事で恐縮だが、本学に入職し、早いもので6年目に入った。学生諸君に講義や実習を通して、私のこれまでの現場での経験、考え方などをどのように伝えようかと試行錯誤を続けている。まさに「教えることは学ぶことである」を実感する日々である。そんな中で、本誌の編集委員に加えていただき、ひとつの雑誌が出来あがるまでに直接参加することで、また新しい勉強をさせていただいている。本誌は医療と福祉にまたがる幅広い内容を網羅しているので、元来、論文の書き方、形式にかなりの違いがあり、それをひとつの皿に盛るためには、査読や編集の上で苦勞することがある。しかし、これも投稿規定と執筆規定が12巻1号から適用されるなど、学会員内での共通認識が徐々に出来、本誌もいよいよ成熟期に向けて動き出しているように感じられる。もうひとつ、乗り越えなければならない問題として、どこでも抱える悩みであろうが、「原稿、つまり論文がなかなか集まらない」という状況がある。毎回、編集委員会が出る話題であるが、これは、すぐに根本的な解決法が見つかるというものではないのかも知れない。内容を議論せずに、ただ論文の数や形式だけを揃えるという安易な方法は、もちろん避けなければならない。専門領域の広さをうまくバランスを取りながら、雑誌のレベル向上を志向するという門の狭さと、若い人達の研究を奨励し、育てるという門の広さが同時に要求されるのであるから、難しい。

最後になるが、これまで査読にご協力、ご苦勞いただいた先生方には、この場を借りて御礼申し上げます。今後ますます、会員諸氏の本誌への積極的なご支援をお願いしたい。

編集委員 熊倉勇美

川崎医療福祉学会誌

平成15年6月25日発行

発行者 岡田喜篤
発行所 川崎医療福祉学会
〒701-0193 倉敷市松島288
印刷者 常松高坏
印刷所 西尾総合印刷株式会社 横井支店
〒701-1145 岡山市横井上90
連絡先 川崎医療福祉大学 中央教員秘書室
〒701-0193 倉敷市松島288
TEL 086-462-1111 内線54095
086-464-1010 (直通)
FAX 086-463-3508